

医療百話

湘南藤沢徳洲会病院
 内視鏡内科 部長
 永田 充



「体に負担の少ない胃腸の癌(がん)の内視鏡治療」

胃や腸の癌の治療と言えば、外科手術、抗癌剤、放射線をイメージされる患者さまが、多いかもしれません。しかし、近年は胃カメラ、大腸カメラを用いた体に負担の少ない治療法として、「内視鏡的粘膜下層剥離術:ESD(Endoscopic Submucosal Dissection)」が普及してきています。

●ESDとは

従来、胃カメラや大腸カメラを用いた治療は、小さな癌しか切除できないという問題がありました。しかし、今から約20年前に日本でESDが開発され、大きな癌でも胃カメラや大腸カメラを用いて切除することが可能になりました。

ESDでは、おなかや胸を切ることなく、臓器を残すことが出来ます。適応に限界はあるものの、外科手術(開腹手術、腹腔鏡手術など)に比べ体に負担の少ない治療法であり、高齢の患者さまにもESDを行うことが出来ます。入院は必要ですが、多くの場合、術後3日目に退院可能です。術後の痛みはほとんどなく、基本的に退院の翌日から職場への復帰が可能です。

●ESDの適応範囲

ESDの適応となるのは、主に食道癌、胃癌、大腸癌です。最近では、十二指腸癌、咽頭癌にもESDが行われるようになっていますが、まだ限られた施設でしか行われていません。

ESDで根治が可能なのは、基本的に“リンパ節や他の臓器に転移がない初期の癌”に限られます。癌の転移の可能性は、胃カメラや大腸カメラの所見などによって推定可能です。癌の転移の可能性が一定の基準以上あると推定される場合は、基本的にESDの適応外であり、他の治療法(外科手術、抗癌剤、放射線など)を検討する必要があります。なお、ESDの適応の具体的な内容は学会のガイドラインで定められており、詳細については治療前に外来でご説明しております。

●当科について

当科では、食道癌、胃癌、大腸癌に加え、十二指腸癌、咽頭癌にもESDを行っています。最近の年間ESD件数は、140～190件ほどです。現在、当院における全てのESDを私が担当しております。体に負担の少ない癌の治療をご希望の患者さまは、外来でお気軽にお問い合わせ下さい。

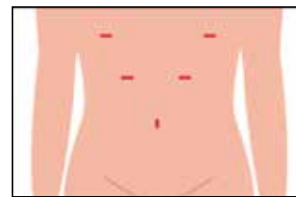


胃癌切除後の傷の違い

赤い線が、手術痕を表しています。

開腹手術

開腹手術では縦状の長い手術痕が1つ出来ます。



腹腔鏡手術

腹腔鏡手術では小さな手術痕が5個出来ます。



ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)

ESDでは、おなかを切らないため、手術痕は出来ません。

令和4年度下期分 法人会費口座振替のお知らせ

区分	資本金	月額
正会員	300万円以下	800円
	1,000万円以下	1,300円
	3,000万円以下	1,800円
	5,000万円以下	2,400円
	5,000万円超	3,000円
	特別会員(同一代表者及びこれに準ずる代表者の法人)	100円
賛助会員	法人会活動に賛同される個人又は個人事業者	500円

□口座振替契約の皆さまへ

令和4年度下期(令和4年10月1日～令和5年3月31日)の会費をご指定の口座から振替させていただきますので、振替日に不足が生じないようご協力をお願いいたします。

また、平成28年度上期より郵送によるお知らせは省略し、本誌でのご案内とさせていただきます。

尚、領収証につきましては、通帳などの摘要欄の引き落とし表示に代えさせていただきます。

※領収証が必要な場合、事務局までご連絡ください。

■引落日:令和4年11月15日

□口座振替契約をされていない皆さまへ

12月上旬に振込用紙を郵送いたします。法人会費の納入は口座振替が便利です!ご協力ください。

お問い合わせは(公社)藤沢法人会 事務局・0466-22-6444